

「未来をひらく微生物」学習後の感想(一部抜粋)

1	本読みをすらすら読めるようになった。微生物の働きがわかった。接続語の見つけ方はできたけど、比喩の見つけ方がわからなかった。難しかった。作文はすらすら書けなかったけど、伝えたいことがうまく書けてよかったです。
2	微生物は最初どんなものか全然わからなかったけど、この勉強をして、私たちの生活にとっても役立っていることがわかった。ほかにも説明の技がいろんなところに使われていて、作文を書くときに、悩まずスラスラ書けたりして、技が理解できたと思いました。
3	微生物が地球に対してやってくれていたことなどが分かった。作文の中に接続語を入れるとうまく書けることがわかった。接続語や比喩を見つけることが意外と難しかった。次回は全ての面においてがんばりたい。
4	最初は、わからなかったけど、どんどんやっていくうちに、接続語や問題提起はここ！だとか、作文などいろいろ分かったり、出来なかったことが出来たりして、とても良かったです。次回も、いろんな事を分かっしていきたいです。
5	作文でうまく小学5年生やお婆ちゃんに説明できたと思います。接続語もたくさん書いて、長く書けた。本読みですらすらと読めるようになった。次回は、説明の仕方をうまくやりたいです。
6	生分解性プラスチックは高いけど、いいということが分かった。作文を2枚書いたけど、お婆あちゃんに書いた作文の方が上手に書けた。接続語の使い方がよく分かった。定義がいまいちわからなかったかなと思う。
7	小学5年生への説明より、お婆ちゃんへの説明の作文の方がうまく書けてよかった。接続語は見つけられるようになったし、「しかし」と「だから」の使い方もわかった。でも指示語はすぐに見つけられないと思う。
8	この国語の勉強で、接続語・比喩・定義など、たくさん出てきて、最初はわからなかったけど、作文を書いているうちに、だんだん分かってきました。それに毎時間の初めに本読みをするので、内容がよく理解できました。
9	作文は、自分でも、力がついたとおもっています。接続語とか、あまりわかりませんでした。生分解性プラスチックは、土の中にうめて微生物がいれば、とけてなくなるということはわかりました。
10	まず思うことは本読みがすらすらできるようになったことと、接続語を見つけることが上達したと思いました。がんばった事は、説明文の技とか構成を理解することです。…でも、ちょっと定義が分かるといえばわかるけど不安です。。作文は、5年生に説明するやつよりお婆あちゃんに説明するやつが上手に書けました。特に、接続語を使ったり、数字とか対比とかを使ったりできたから、作文はうまくなったなと思います。

本読み(赤)／内容理解(青)／「説明の技」(緑)／書き直し作文(オレンジ)

生徒の感想の分析

「本読み」について

- ・ 本読みの評価が高い。また「毎時間の初めに本読みをするので、内容がよく理解でき」という指摘がある。生徒自身が本読みの意義を理解して取り組んでいることが分かる。

「内容理解」について

- ・ 内容理解では、分かったという意見が多い。部分的にとりあげて限定して述べている生徒もいるが、筆者の主張の部分も読みとれたかどうかは、ここからは判断しにくい。

「説明の技」の理解について

- ・ 「最初は、わからなかったけど、どんどんやっていくうちに(～わかった)」「接続語は見つけられるようになったし、『しかし』と『だから』の使い方もわかった」「接続語の使い方がよく分かった」という記述から、「説明の技」を意識して学んだことがわかる。
- ・ 「比喩が見つけられなかった」「定義が不安だ」「指示語が見つけられない」「接続語がわからない」など自分の疑問や不安を書けている。学習対象を意識したり、自分の力を客観視できることがわかった。指導は、今後も機会を捉えて行っていくこととする。

「書き直し作文」について

- ・「最初はわからなかったけど、作文をかいているうちに、だんだん分かった」「悩まずスラスラ書けたりして、技が理解できた」「接続語や数字・対比とかを使ったりできたから、作文はうまくなったな」「作文の中に接続語を入れるとうまく書けることがわかった」などの感想から、「取り立て指導」→「書き直し作文」という方法は、大変効果があったと分かる。

「その他」

- ・自己評価の厳しい生徒がいる。理解に努め、自信を回復するような言葉掛けをする。また、自己評価能力を高めてやる必要がある。